

2005年7月

# TODA オールネット

www.toda-oar.net

5号

～ 出会い ふれあい 支え合い～

地域通貨 戸田オール

100オール

エイト

Community Currency Toda Oar

つい先日、我が家の近くに「けやき安全ステーション」ができました。近所にこのような防犯の拠点ができたことは嬉しいのですが、自分たちの防犯意識も高くしていきたいものです。（荒川で）

オールの図案は市内在住の版画家・高橋シュウさんによるものです。

## TODA オールネットとは.....

戸田市内全域を対象に行う地域通貨戸田「オール」の試験運用を幅広く皆さんに理解していただくために発行するものです。もちろん、それだけではなく各市民活動団体の活動状況、また市役所など公的機関からの告知、各地区ごとのちょっとしたニュースをご紹介します媒体です。戸田市役所コミュニティ推進課と各町会の御協力により、市内全戸配布を行います。

私たちは、この「TODAオールネット」が、皆さんの生活をもっと楽しくするような戸田市のタウン紙になるよう頑張ります。

TODAオールネットもお陰様で第5号を発行することができました。取材、編集、データ化して印刷所へ持込みまで毎号運営委員が手作りしています。

「漕艇場からこんにちは」「町会めぐり、人めぐり」のシリーズはいかがでしょう。今回から「学校訪問おじゃまします」も新しく加わりました。

市内の身近な情報をお寄せ下さい。これからも皆様に愛される広報紙となるよう頑張ります。（中島）

次号は10月15日発行予定です

地域通貨戸田オール運営委員会

〒335-0031 戸田市美女木5-2-16

西部福祉センター2階

TEL & FAX 048-421-3709

E-mail: [info@toda-oar.net](mailto:info@toda-oar.net)

開設日：水曜・土曜 13時～17時



## コンパルまつりに参加して



梅雨の中休みで、真夏を思わせる暑い1日となりました。

7月2日、私たち戸田オール運営委員会では、「住んでいて良かった町づくりを考えよう」と題してコンパルまつりに参加しました。その中でたくさんの方々から、貴重な意見を頂きました。

「住み続けたい町とはどんな町？」という質問に・・・  
「犯罪のない町」「安心して暮らせる町」「誰とでも挨拶できる町」「緑の多い町」「きれいな町」など等でした。

こんな素敵な町にする為の対策として、「防犯パトロールの強化」というのがありましたが、中には「戸田オールが流通するのが理想です。」なんて嬉しい言葉もありました。

皆さんから、元気を頂いた1日でした。 (高本)

### 地域通貨「戸田オール」発行状況 発行プロジェクト

#### 1. 美笹商店会 17.04.01

提灯付けのボランティアに感謝の気持として100オール券を1枚贈呈

【発行枚数】100オール券20枚2,000オール

#### 2. 笹目五丁目地域通貨推進委員会 17.04.03

防犯パトロールを通じた地域通貨の浸透

昨年1月から実施している「笹目五丁目町会防犯パトロール」の参加者への缶飲料の配布に代えて、笹目五丁目町会地域通貨推進委員会から100オール券を配布し、防犯パトロールへの参加者の拡大を図るとともに、地域通貨への理解を深める。

なお、配布した地域通貨が停滞することのないよう、別途イベントを企画する等「地域通貨を活用する文化」を広めたい。

参加者に100オール券を1枚贈呈

【発行枚数】100オール券180枚18,000オール  
後半同数程度の発行がある予定です。

【参考：昨年度実績】

参加総数226人 10オール 330枚



#### 3. NPO法人まち研究工房 17.4.9,10

まちづくりフェスタ

行事参加者・ボランティアへの謝礼等

10オール 500枚。100オール 50枚  
計 10,000オール

#### 4. 笹6花の会 17.5.11

花の育成ボランティアへの謝礼

100オール 150枚

#### 5. 笹目5丁目町会 文化部 17.5.17

運動会の準備に協力いただいた方に謝礼

100オール 25枚

トラック提供

玉入れ玉の製作その他 5名

#### 6. エコライフDAYとだ2005実行委員会 17.6.12

環境家計簿の記入参加者へ謝礼

10オール 1,000枚 17.6.13仮払

## 「オール」で市民との交流を

戸田市商工会 会長 菅沼 亮さん



菅沼商工会長

戸田オール的发展には、商工会との協働は不可欠です。今回は菅沼会長にご意見をいただきながら、これからの戸田オールを考えていきたいと思ひます。  
(聞き手は中島孝雄委員長)

中島：今日のご多忙のところ、貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。まず、戸田オールについて、何か思っていることがあれば、お教えください。

菅沼：まだまだ発行枚数が少ないのではないのでしょうか。私は喜沢一丁目ですが、使っている市民の方がほとんどいませんでした。

中島：もともと笹目地区から始めたということもあり、市の東部での告知が行き届いていないせいかもしれません。今、個々の商店、町会での利用をお願いしているところです。

菅沼：婦人会のほうが理解があるのではないですか？

中島：そうですね、検討したいと思ひます。商店

ではいかがでしょうか。オールによって「コミュニケーションするようになった」という声も聞こえてくるのですが。

菅沼：実際のところ、市民との交流が年々薄らいでいるのは事実です。しかし、中には特に製造業を中心として頑張っている繁盛店もあります。まず、市民の皆さんに振り向いてもらえる魅力ある商店を目指しながら、「オール」を活用できるといいですね。

中島：ありがとうございます。商店の皆さんに協力していただかないと、「オール」も育っていきません。期間限定でもいいので積極的な取り組みをしてくださるところにアプローチしていきたいものです。

菅沼：ならば、喜沢一丁目でご協力しましょう。いかがですか。

中島：東部の基点になってもらえれば幸いです。さっそくお願いします。

菅沼会長のご尽力によって、「オール」は新たな展開へと進んで行きそうです。喜沢の皆さん、よろしくお祈りします。



中島委員長

## ミニトマトに再挑戦

5月14日、笹目5丁目地域通貨推進委員会による地域通貨運用拡大及び旧券交換イベントが、地元のNPO法人「戸田EMピープルネット」との協働で、5丁目会館において開催されました。快晴の天候に恵まれ約70名の参加のもと、楽しいふれあいのひとときを過ごしました。100オールでミニトマトの苗2本と、EM活性液も無料でもらえました。かわいイトマトをたくさん収穫するのが楽しみです。

(中島)



笹目五丁目地域通貨推進委員会の皆さん

# アパマンショップ

お徳購採し  
おまかせ  
下さい！



●埼京線戸田駅東口正面

戸田店

●埼京線戸田公園駅西口

戸田公園店

TEL048(445)1122

TEL048(445)1123

## 地域通貨「戸田オール」基金がスタートします！

平成 17 年 4 月から第 3 次試験運用がスタート。今回の特徴のひとつが地域通貨「戸田オール」基金です。これは、戸田市内の市民団体・個人への助成を通じて市民活動の活性化に寄与することを目的として設けます。もちろん、自前資金での戸田オール活用のプロジェクトを立ち上げるには、委員会にお知らせいただくだけで個人でも団体でも自由に企画できます。

プロジェクトの企画にあたって地域通貨での資金援助をご希望の団体、個人の皆様は、下記の応募要領を参考にご応募ください。委員会としてその活動を支援します。

### 助成応募要領

#### < 助成対象 >

戸田市内の市民活動団体、ボランティア団体、NPO、個人が企画するイベント、プロジェクト、事業など。

#### < 助成金額 >

対象となる事業で戸田オール発行経費の 2 分の 1 までで 20,000 オールを限度とする。

助成率は運営委員会の判断による。

#### < 選考方法 >

指定された応募用紙を提出後、月 1 回開催される運営委員会において、書類審査または面接によるプレゼンテーションに基づいて、委員の多数決によって決定。

#### < 応募方法と審査・決定配布まで >

助成希望者は、運営委員会のホームページから申込書をダウンロードし、必要事項にご記入の上、郵送、ご持参などでご提出ください。お申し込みは随時受け付けますが、審査は月 1 回の運営委員会、あるいは運営委員会のメーリングリストにて行いますので、事業実施時期との時間差をお考えの上、お早めにお申し込みください。書類審査または面談でのプレゼンテーションで決定しますので、できれば審査の運営委員会にご参加ください。なお審査後、決定通知と同時に必要な地域通貨「戸田オール」をお渡ししますから、100%助成以外の方には差額分の金額をご用意下さい。事業終了後には簡単な報告書をお出しく下さい。事業の開始前には、運営委員会のサイトなどで広告、告知を行いません。

地域通貨「戸田オール」運営委員会

## エコライフ DAY とだ 2005

戸田市では第 2 回目となる、1 日だけでも地球温暖化防止に役立つ行動をとろう、そして、その結果を環境家計簿としてチェックシートに記入しようという「エコライフ DAY 2005」という活動が、去る 6 月 12 日の日曜日に実施されました。これは同時に参加していただいた市民の皆さんに地域通貨を謝礼にお渡しするというプロジェクトでもあります。まだ、最終結果が集計されていませんが、現在のところ、14,694 名の参加となっています。

今年は、この活動のスタートとなった川口市民環境会議が中心となって大宮ソニックシティ 30 階のテブコの一角に埼玉県地球温暖化防止活動推進センターが作られ、戸田市

のサイトも活用される形で、全県で 10 万人の参加という一大キャンペーンとなりました。このセンターは「地球温暖化対策の推進に関する法律」24 条によって各都道府県に置かれ、地球温暖化の防止に寄与する活動の促進を図ることを目的に設立されました。（山中）

詳しい内容は、ホームページから

戸田のエコライフは、<http://www.sai-ecolife.jp/>

県地球温暖化防止活動推進センターは、<http://www.kannet-sai.org/sai-ccca/>



## 市民活動・日韓交流の架け橋

戸田市在住の歌手 萩原米子さん

新連載

## 学校訪問「おじゃまします!!」Vol.1

芦原小学校 校長 前田一男さん

日韓滞留深まる溝の中、竹島問題で日韓関係が悪化して以来、日本は韓国側に対して、最大限の配慮に努めてきた。先の大戦で徴用された朝鮮半島出身者の遺骨の調査・変換、韓国在住の被爆者やロシア・サハリンに残留する朝鮮半島出身者への支援などに取り組み、過去の反省とお詫びの実践をしてきたものの、まだまだじっくりしていない。



韓国で人気の歌謡番組に  
ゲスト出演（写真右）

その中で民間レベルで女性歌手の萩原米子さん＝キングレコード＝が、去る5月16日から20日まで、関係者と訪韓し、韓国テレビ数局の歌

謡番組などに出演した。南北分断に平和が訪れることを願った「無情の三十八度線」を韓国語で熱唱、歌を通じて日韓交流を果たした。

「2ヵ月間の練習の成果が出たのか、『本当に日本の歌手ですか』と聞かれました。歌を通して、日韓交流の架け橋となれたことに感激しました。これからは国・民間レベル、それぞれでできることから少しずつ行うことが大切だと思います。様々な機会、出会いを大事にしていくことで広がっていくのではと思います。韓国では子どもたちのファンもできました。いつか日本に呼んであげたいですね」（平野）

市内の「学校」をぐるぐると回ってみようというこのコーナー。第一回目は、噂の芦原小学校です。前田一男校長に話を聞きました。



この4月に開校したばかりの芦原小学校ですが、外見からして学校らしくないのですが、中に入っても、学校らしくないのです。1階はガラス張りです。外から何をしているのか丸見えですし、2階、3階は教室と教室の間に壁がないんです。

「ここまで見ると防犯上どうなのかなどの御意見もいただきますが、逆にモラル、社会性を高める場になると思うんです。壁一つあるだけで子供たちは大騒ぎしてしまったりするのですが、ここではそんなことないんですね。また、3ヶ月経ったところですが、ある子供が“おしゃれな学校”と言ってくれました。これはこの学校のキーワードですね。施設が子供を育てるんです。“おしゃれな学校”に通っているのだから、自分たちもしっかりしようという気持ちになるんですね」

地域の大人との交流も盛んに行われています。「花結びオーナー制度」は、子供と地域の大人がペアになって一つのプランターの花を育てるといったもの。さらに給食が自校式になったことにより、エコ・とだ・ネットワークと協力し菜園も始まっている。また「ふれあいラウンジ」もあり、地域の人々の交流の場としても開かれています。

「できるだけ大人に来てもらえる学校にしたいと思っています」と前田校長。一度、遊びに行ってみてはいかがですか？（荒川ゆ）

## 漕艇場からこんにちは！ Vol. 5

### 東京経済大学

監督 増井直治さん

今回は、戸田漕艇場に初めて艇庫を置いたという東京経済大学。増井直治監督に話を聞いた。

「大倉高商時代、隅田川に艇庫を置いていましたが、昭和18年に接收されたので、戸田に移築しました。私が過ごした昭和28年から32年は、慶応大と外語大と共同艇庫があったぐらいで、あとは田んぼしかなかったんですよ」

当時は春から全日本選手権のある夏までを戸田で過ごし、秋と冬は日曜ごとに赤羽からバスに乗って通ったという。

「昔は銭湯に行って、そば屋の『くにや』に寄るのが楽しみでした。八百屋さんとかとも交流がありましたしね。その頃に比べると少し寂しい。もっと

我々も戸田市と交流していると思うし、戸田市と一緒にボートをPRしたい。戸田オリンピックコースなんですよ、せっかくなんだから、これを活かさない手はないでしょう」

昨年、創部100周年を迎え、クラブハウスも新築した。

「ボートは学校が創設されたときからのスクールスポーツ。単科大学ですが、総合大学に負けなように、頑張っています」（荒川ゆ）



～戸田シティ自治会長 茂呂定義さん～

## 戸田シティ自治会はITも活用し 住民間の絆をさらに強めます



戸田市には全部で46の「町会」がありますが、そのうち、集合住宅の住民だけで構成されている「自治会」が3つ存在しています。近年、戸田市ではマンションなどの集合住宅が増えつつありますが、その先駆的存在であり、自治会加入率がほぼ100%である戸田シティ自治会の茂呂さんにお話を伺いました。

「マンションは1つの建物に多くの方が暮らしているため、住民同士が顔見知りになる機会も多いのですが、玄関のドアを閉めると完全な密室状態になるため、“隣は何をする人ぞ”という人もいます。難

しいですね」と少し苦笑まじりに話されました。

このため、自治会長に就任して10年以上になる茂呂さんは、自治会内の親睦を図るために、いろいろな試みをしています。その中の1つ、『戸田シティ自治会ホームページ』は自ら作成・管理をされている力作です。「3年前までは経験もなく、パソコンすら持っていなかったんですよ。専門誌など読んで勉強しました」とは思えないほど充実した内容です。「見やすい内容を心掛けています。このため、文章は簡潔明瞭で少なくし、その分、写真を多く掲載するようにしています」と語る茂呂さん。「ホームページを持つ町会・自治会が1つでも多く増えたらいいですね。そうなれば、お互いに情報交換もできますし」とIT化にも積極的です。

また、将来の戸田シティ自治会については、「うちの自治会には、会社勤めをしている現役世代の人が多いいです。その人たちが引退して、自治会の運営に携わるようになる時が楽しみです」と今後の抱負を話されました。  
(早川)

## ジュニサポフェスタ2005

～助け愛が大きな夢へ～

戸田市で活動しているボランティアグループ「TODAジュニアサポ-トネットワーク」も今年で設立から一年がたちました。

それを記念し、また地域に目を向ける一つのきっかけになればと思いイベントを企画しました。

子供からお年寄りまで楽しめる内容です。ぜひお誘い合わせの上お越し下さい。

日時 平成17年7月31日 10:30～16:00

場所 戸田市立児童センター- プリムロ-ズ

内容 起震車で震度7を体験しよう&シ-トベルト体験車で交通事故の疑似体験

ホ-ルでのダンス、ピアノ、交通安全教室、バル-ンア-ト、バンドなど

各種市民団体による展示体験コ-ナ-

パソコンをつかって遊ぼう 昔遊び など

問い合わせ ジュニサポフェスタ2005実行委員会 431-3382

## ふるさと祭り 清掃ボランティア募集

第31回戸田ふるさと祭りでの清掃ボランティアを募集します。

戸田市の夏の風物詩として、すっかり定着した「戸田ふるさと祭り」も、今年で31回目を迎えます。

年々増える参加者に比例して、残念なことにゴミも増えています。お祭りの後には一抹の寂しさが残りますが、ゴミは1つ残らず撤去して、お祭り前の綺麗なまちにしたいものです。

このため、戸田ふるさと祭り実行委員会では、戸田ふるさと祭りにおける清掃ボランティアを募集しています。参加していただいた方には、ボランティア証明書を発行するとともに、地域通貨戸田オールもお渡しいたします。ぜひご参加下さい。

と き：8月20日(土)・21日(日)

じかん： 午後5時～午後7時

午後7時～午後9時

午後9時～午後11時

ばしょ：戸田ふるさと祭り本部テント前

それぞれの開始時間5分前までに集合し、受付をして下さい。

【法人会員】 ニッケン建設(株)、戸田中央総合病院、ファミリーマート田中上戸田店、(有)古河屋(こが屋文具)、(株)平和不動産、戸田市商店会連合会、戸田市商工会、戸田市商業協同組合、戸田中央産院、中島孝雄税理士事務所、サポートセンター・ウィング、美笹商店会、(株)全通、(有)セルフ、(株)アイ・ライフ、(有)三京、戸田中央リハビリテーション病院、須藤歯科医院、(株)富岡製作所 (敬称略・順不同、平成17年4月1日現在)